


## 会議録

会議の名称	令和3年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会
開催日時	令和3年7月1日(木) 午後7時から8時10分まで
開催場所	加東市東条福祉センター「とどろき荘」多目的ホール
出席及び欠席委員の氏名	<p>(出席委員7人) 谷上 泰生、藤原 文子、石田 和伸、藤原 まゆみ、山田 ゆかり、 服部 雅幸、松本 充生</p> <p>(欠席委員1人) 橋本 匡史</p>
説明のため出席した者の職氏名	<p>加東市社会福祉協議会(指定管理者)</p> <p>会長 中村 勇、事務局長 岩崎 吉泰、主任 前田 恵</p>
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<p>加東市長 安田 正義</p> <p>健康福祉部長 大西 祥隆</p> <p>福祉総務課 課長 近澤 孝則、係長 遠藤 祐希、主査 長濱 泰栄</p>
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>1 協議事項等</p> <p>(1) 会長の選出について</p> <p>(2) 令和2年度決算及び令和3年度事業計画(案)について</p> <p>(3) とどろき荘の今後の運営方針について</p> <p>(4) その他</p> <p>2 会議資料</p> <p>・委員名簿</p> <p>・令和2年度決算及び令和3年度事業計画(案)・今後の運営方針</p> <p>3 会議の経過</p> <p>別紙のとおり</p>

令和3年 8 月 30 日

署名人 石田 和伸 

(別紙) 令和3年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会の経過

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項

(1) 会長の選出について

委員の互選により、貞守地区区長の谷上委員が選出され、就任された。

(2) 令和2年度決算及び令和3年度事業計画(案)について

発言者	会議の経過/発言内容
指定管理者	<資料に基づき令和2年度決算及び令和3年度事業計画(案)について説明を行う>
委員	入浴者全体の加東市在住者の割合は算出しているか。
指定管理者	大体60%ぐらいが加東市の方で、40%ぐらいが市外の方である。
委員	入浴回数が一番多い区分であるランクAの人は、やはり市内の人が多いのか。
事務局	ランク分けについては、令和3年度からの取組として、令和2年度後半ぐらいから数値を集めているため、Aランクの人の何割が市内の人か、といった細かい分析はまだできていない。
委員	加東市以外の地域に利用を広げようという努力はしているか。
指定管理者	(市外では)小野市、三木市、西脇市に利用者が多いので、西脇市と三木市の道の駅にパンフレットを設置させてもらっている。 また、東播磨の観光雑誌「まるはり」の1年ほど前の企画で、入浴券1回無料の特典を付けて紹介してもらい、京阪神方面や姫路、加古川から毎月160人ぐらいの利用がある。「まるはり」特典利用者には、100円割引券を渡すことで再来場につなげる努力をしている。
委員	コロナの感染が広がっている時期であり、入浴施設全般に対して、感染についての不安感がある。そのため、利用を控えてしまう人がある。とどろき荘は、緊急事態宣言の期間以外は開館しているようだが、医学的根拠をもって開館しているのであればその旨をPRしているか。 また、とどろき荘の温泉は他の温泉施設と比べてどういう所が優れているのかを明確にし、特色としてアピールしているか。 広く市民に呼び掛けるための工夫についても聞かせてほしい。
指定管理者	感染予防対策については、入浴者からも問合せがある。以下のような対策を行っている。 ・換気・消毒の定期的な実施、 ・入浴者への黙浴(黙って風呂に入る)やマスク着用呼び掛け、 ・手洗い場への消毒液設置  また温泉の売りについては、「塩化物泉であり、特に冬場はよく温まる」という特徴があり、効能を書いたものを1階受付前に掲示している他、ホームページやSNSで入浴方法、温泉雑学についての案内やコロナ対策マナーの周知をしている。また、社協だよりでは2か月に1回、とどろき荘の宣伝ページを設けて、温泉水の源泉を無料で持ち帰りできることなどを記載し、PRしている。

委員	<p>現場ではコロナ感染症の影響による休業や時短により苦勞されたと思う。</p> <p>資料3ページによると、そのような中で、入浴者数が、令和元年度と比較して95.3%という数字であることは評価できると思う。どんな施設でも、長期の休業により一旦離れた利用者が戻ってくるまでは大変であるが、とどろき荘には常連の利用者が多く、この入浴者数の数字は、再開を待ち望んでいる常連の利用者が維持・確保できているということの表れであると思う。</p> <p>また、収支についても、国や県の支援金の受給の他、受付業務を委託から直接雇用にするといったことが費用削減につながっており、評価したい。</p> <p>これらにより、令和元年度の赤字から、(2年度は)126万8,000円と黒字になったことが数値により示されている。この点は評価すべき点であると思う。</p> <p>資料4ページと6ページで、毎度ありキャンペーンと各シーズンのキャンペーンがあり、それらをリンクさせて利用者を増やす工夫をされている。今後もこういった工夫について頑張って、令和3年度も計画通り黒字になるようお願いしたい。</p>
----	--

(3) とどろき荘の今後の運営方針について

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	＜資料に基づきとどろき荘の今後の運営方針について説明を行う＞
委員	<p>修繕費について。</p> <p>平成30年度は1,710万3,000円、令和元年度が2,023万5,000円、昨年度は541万1,000円で極端に減っているが、修繕費というのは支出のどの項目に上がってくるのか。</p>
事務局	指定管理者の業務として50万円未満の修繕については指定管理者で、それ以上の修繕は市で行う工事と位置づけている。
委員	工事金額が50万円未満であれば事業費の中に修繕費が含まれるが、それ以上になると別扱い(とどろき荘収支には含まれない)ということか。
事務局	はい。そうです。
委員	資料9ページ上段の1,700万円等の工事額は全て市の支出ということか。
事務局	その通りです。
委員	<p>資料7ページの運営方針に、収支のバランスの取れた事業運営が見込まれない場合は温泉施設の廃止を決定するとあるが、どんな運営なら収支バランスが取れていると言えるのか、判断することは難しい。</p> <p>過去の審議会で、指定管理料と赤字額を合わせて2,000万円が一つの基準と聞いたことがある。この基準に従えば、令和2年度の指定管理料は1,600万円なので、約400万円までの赤字なら今後も継続して運営できると思う。</p> <p>資料11ページによると、令和3年度は収支差額見込み90万円、令和4年度、5年度はそれぞれ46万2,000円が見込まれており、十分収支のバランスが取れた運営であると思われる。</p> <p>また、資料11ページの下部に施設の維持管理に必要な工事費が記載されているが、収支のバランスの取れた経営を維持していくためには、ぜひとも老朽化した箇所は整備していただきたい。どの部分も老朽化してゆくの、工事は必要であろうと思う。</p>

委員	<p>審議会に参加するのは今回が初めてだが、今の説明を聞いて、改めて大変なことだと思う。</p> <p>今現在の経営とは関係なく、前から使用している設備が傷んできて修理を行っているということだが、考えようによっては加東市全体で修理費を負担しているということになる。加東市全体の中での位置付けとして、設備については市で負担することになっているのだと思うが。</p> <p>収支のバランスについては、微妙なところで推移しており、経営している方は大変だと思う。努力されている。</p> <p>利用者の概ね60%が市内の人だという説明があったが、福祉施設として、ここはとても重要な働きをしていると感じたので、併せて60%の人についてももう少し詳しく、加東市内でいえばどの地域の人がどのぐらいの割合で来ているのかが知りたい。例えば滝野地域は「ぼかぼ」があるので滝野の人が来ることはあまりないのか。この結果によって、例えば東条の人が圧倒的に多いということであれば、東条の方にとっては重要な施設ということになるが、場合によっては加東市内の他の地域の人たちへのPRが必要になると思う。ただPRするだけでは効果がないので、その人たちがここに来る魅力について、例えば健康にどうよいか、ここへ来たらどう楽しいのか等の内容を取り入れることが大事だと思う。その辺りのことを考慮に入れた上で、現在の利用者の割合について聞かせてほしい。</p>
指定管理者	割合は出していないが、東条地域の人が多く、次いで社地域の人が多い状況である。
委員	割合を出すことはできるか。
指定管理者	<p>まだ計算していないので、正確な数字は不明だが、市内各地域の割合としては、4：3：2ぐらいの割合で東条の人、社の人、滝野の人、そのような印象を受ける。滝野は「ぼかぼ」があるため、また比較的距離が遠いこともあり利用者は少ない。社では、東条に近い地域の利用者が多い。</p> <p>また、市内の人に楽しんでもらえる企画をしているかという質問については、現在はコロナにより休止中だが、東条地域のまちづくり協議会により、毎月第1土曜日と第3土曜日にこの多目的ホールで「とどろきカフェ」という催しを実施していた。「コーヒーと、とどろき荘の温泉水を使ったゆで卵を 150 円で提供する」「市内のボランティアが給仕をする」という内容で、来場者もこの地域の人であり、地域の交流の場となっている。とどろき荘としては、「とどろきカフェ」開催日に合わせて海産物や、帽子や靴下等の雑貨を扱う店舗を呼び、「とどろきカフェ」来場のついでに買い物をしてもらおうという取組や、「とどろきカフェ」来場者に入浴料 100 円割引券を配布して温泉利用を促すという取組を行っている。現在は、別の形での取組を検討している。</p>
委員	コロナの時期は仕方がないが、それが一段落すれば、例えば落語会をしたり、お笑いの人を呼んでくる等、費用の問題もあるかと思うが、もう少し広くから関心を持たれるようなものを考えてほしい。
委員	滝野の「ぼかぼ」の運営も社会福祉協議会がしているのか？
指定管理者	社会福祉協議会ではない。
市長	方式は同じ指定管理方式で、指定管理者がいる。滝野の「ぼかぼ」の場合は、ふるさと振興協会という組織が指定管理者として運営をしている。修繕費等についてもとどろき荘と同じ考え方で、大きな修繕は市が行うことになっている。
委員	私も長年審議会に携わっているが、社会福祉協議会の運営努力は本当に数字に表れていると思う。

	またPRについてだが、加東市のケーブルテレビに宣伝を出したことはないのではないか。
指定管理者	1分ぐらいのビデオレターのような企画に参加したことならある。
委員	私は滝野在住で、元は市外にいたので、審議会に関わらなければとどろき荘の存在は知らなかったと思う。例えば民放の地方局が地元の人を使ってCMしているような雰囲気、ケーブルテレビでCMを流すなど、とにかく宣伝するしかないと思う。私も司会や出演者の調整などで無料で協力させてもらい、市のPRであればケーブルテレビも宣伝料金はいらぬのではないか。
事務局	その通り、費用はかからない。
委員	そういったテレビCMなどで、少しずつ市民の方に見てもらい、利用者間で知られている温泉水の泉質の良さについても、もっと知ってもらいたい。 SNSの記事は運営の方が定期的に更新しているが、盆景など魅力的な商品についてもっと掲載すれば、買い物ついでの入浴者も見込まれるかと思う。

#### 4. 閉会